

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会  
**平成29年度事業報告書**  
(平成29年4月1日より平成30年3月31日まで)

## I 公益目的事業

### 1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) 子ども青少年クラシック音楽普及プロジェクト（Y-Classic）〈フェスティバルの開催〉

[旧 JAPAN CLASSIC FESTIVAL]

クラシック音楽の普及に向けて、子どもと一緒に親子がクラシック音楽に親しむ為の普及事業「Y-Classic 子ども青少年クラシック音楽普及事業」を開催した。

現在のコンサート市場を支えている主要な世代はシニア世代であることを踏まえ、次世代を担う子どもを中心とした青少年に対して、親子でクラシック音楽に親しんでいただけるよう、会員各社の主催・開催する公演に加え、全国で展開されている子どもや親子向けのコンサートを集め、広報告知を行い、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見できるような機会の充実を目指す普及活動を行った。

名称 Y-Classic（子ども青少年クラシック音楽普及事業）

会期 2017年7月21日～2018年3月25日

テーマ 「未来を担う子どもたちへ」

開催地 全国

参加公演数：119公演

(2) JAPAN CLASSIC NAVI 〈ホームページの運営管理〉

「JAPAN CLASSIC NAVI」の運営については、クラシック音楽の普及に係わる団体・事業者・教育機関及びクラシック音楽のファンを対象に最新の情報を提供している。併せて、当協会の実施する様々な事業のうち、コンサートや研修会、オーディション等の最新の情報を発信し、クラシック音楽の振興・普及に努めている。尚、課題となっているアーティスト・ホール等のデータベース化についてはガイドブックとの互換性、既存のサイトとの棲み分け等について課題を残すことから継続して検討・協議を行っている。

### 2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を年間二回開催する他、会員幹部間の人材養成の一環として経営懇談会及び女性部会を実施した。会員研修会では会員が慣例的に行なっているお客様対応や公演中止の対処等のテーマを取り上げ、精査する事により、協会としての一定のルール作りに向けた取り組みも行なっている。

#### ※会員研修会

第1回 テーマ「さまざまなお客様対応について」

日時 平成29年12月8日（金）13時30分～16時00分

会場 商工会館 7BC会議室 [千代田区]

参加者 協会会員社 計22名

ゲスト 稲永詠子（株式会社東急文化村オーチャードホール）

田崎 亨（コンサートイマジン）

コーディネーター 入山功一（協会筆頭副会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内容 お客様対応として、公演当日の様々なクレームへの対応や身障者対応等、会員各社の独自の対応方法を共有することで、今後の参考とする他、業界としての基準を策定出来ないか意見交換を行なった。

第2回 テーマ「公演中止の際の対応策」

日時 平成30年3月5日(月) 15時00分～17時30分

会場 商工会館 6G会議室 [千代田区]

参加者 協会会員社 計26名

講師 北村 造 (ジャパン・アーツ)

土岐雄二 (イープラス)

コーディネーター 入山功一 (協会筆頭副会長 / (株) AMATI 代表取締役社長)

内容 公演中止の対応に焦点を宛て、その要因から対応策、当日の対処法等について様々な事例を挙げて情報共有する他、オペラやバレエ等の指揮者やキャスト変更に関わるキャンセルポリシーについて意見交換を行い、業界としての基準策定に向けて意見交換を行なった。

※女性部会 (第1回については、参加者が少なく残念ながら流会となった。)

第1回 日時 平成29年7月26日(水) 16時00分～18時00分

第2回 日時 平成29年10月25日(金) 16時00分～18時00分

会場 協会事務局 会議室

参加者 協会会員社 計9名

内容 「女性が働き続けるために」として、労働環境等の情報交換や問題提起を行うと共に、女性スタッフの活力を業界のPR、活性化に活かさないかアイデアの検討を行なった。

## II 公益事業

### 1、アーティスト連携事業 (定款第4条第1号関係)

#### (1) 地域創造連携事業

##### ○公共ホール音楽活性化事業 (おんかつ)

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として登録演奏家のプレゼンテーションの実施を受託した。

※平成29年度公共ホール音楽活性化事業 (全国15地域で実施)

※平成29年度登録アーティストによるプレゼンテーション

7人(組)の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成29年4月18日(火) / 会場: HAKUJU HALL (代々木)

※平成30・31年度を登録期限とするアーティスト選考会の実施、並びに新規登録アーティストへの集合研修及び実地研修の実施。

【第一次選考会 (音源・書類審査)】平成29年5月22日(月) / 会場: 地域創造会議室

【第二次選考会 (実技・面接審査)】平成29年6月26・27日(月・火) / 会場: HAKUJU HALL

集合研修 平成29年10月3・4日(火・水) / 会場: 地域創造会議室

実地研修 平成30年1月14日～2月8日の期間 長野県上田市、埼玉県和光市、沖縄県名護市

##### ○公共ホール音楽活性化支援事業 (おんかつ支援)

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールとOB・OGアーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。おんかつ事業と同様に同財団からの受託事業として登録アーティストのプレゼンテーションを開催するとともに、平成29年度は全国17地域で実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

当協会会員社所属の全 92 人（組）の登録アーティストのうち、58 人（組）によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成 29 年 8 月 1 日（火）・2 日（水）・3 日（木）／会場：東京芸術劇場 B2F リハーサル室

#### ○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業として、昨年度モデル事業として実施した本事業は今年度より正式に事業化し、全国 6 地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

#### ○公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（フォーラム）

都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業の愛知県公演についてアーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施するほか、平成 30 年度鹿児島県セッションの実施に向けた派遣アーティスト（アンサンブル）の選考会を行った。

※愛知セッション（愛知県の 6 つの自治体に今年一年をかけて三組のアンサンブルを派遣した）

※鹿児島セッション派遣アーティスト選考会（事業の実施は平成 30 年度）

【第一次選考会（音源・書類審査）】平成 29 年 12 月 25 日（月）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】平成 30 年 1 月 30 日（火）／会場：東京オペラシティ

## 2、情報収集発信事業（定款第 4 条第 1 号関係）

### (1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

#### ※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド 2017-2018 を、2017 年 6 月末日に発刊すると共に、次回の発刊に向けて情報の収集作業等を行っている。

「クラシック音楽事業ガイド 2017-2018」

発行予定 2017 年 6 月末日 1,500 部 定価本体 952 円＋消費税別

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会

#### ※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として発行すると共に、以下の日時にて年間 4 回の編集会議を行った。又発行部数は各号 500 部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル：広報誌「ポンプ&クラシックス!」／発行人：西村友伸／編集人：徳永英樹

第 16 号＝4 月末発行、第 17 号＝7 月末発行、第 18 号＝11 月末発行、第 19 号＝1 月末発行

編集会議 3 月 29 日、7 月 16 日、10 月 30 日、12 月 26 日

又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

### (2) チラシを活用した新規広報ツールの開発に向けた調査・研究

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向け、賛助会員のイープラスと共同で取り組んでいる、チラシを活用した新規広報ツール、スマートフォン向けのチラシアプリの開発については、会員からの公募による委員会を組織し、平成 30 年度の導入に向け今年度は計 2 回の構築委員会を開催した。

第 1 回構築委員会 10 月 25 日（水）13:00～ イープラス会議室 [渋谷区] 出席者：委員他 16 名

第 2 回構築委員会 12 月 14 日（木）13:30～ イープラス会議室 [渋谷区] 出席者：委員他 11 名

## 3、音楽文化振興事業（定款第 4 条第 2 項関係）

### (1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体 16 団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟（会長河村建夫元文科大臣）と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮してい

くことを目指し、文化芸術振興基本法や劇場法等の理念の浸透、啓発、政策提言等の活動を行っており、平成 29 年度は以下の活動等を当協会も参画して実施した。

※文化芸術基本法の制定（文化芸術振興基本法の改訂）

文化芸術振興基本法の一部改定を行うべく、文化芸術振興議員連盟と共に推進フォーラムにて勉強会を重ね、基本的な方向性を打ち出した改訂法律案については、第 193 回国会において成立し、文化芸術基本法として平成 29 年 6 月 23 日に公布、施行された。

※文化芸術振興議員連盟創立 40 年、文化芸術推進フォーラム創立 15 年

記念祝賀会「文化芸術基本法の制定～文化芸術立国へ」

2017 年 6 月 13 日（火）18:00～ 東京プリンスホテル 2 階 プロビデンスホール

※文化行政の機能強化から文化省へ

- ・文化芸術振興議員連盟「文化行政の機能強化」勉強会の開催
- ・文化芸術推進フォーラム「文化芸術推進基本計画」への意見提出
- ・「文化芸術」第 9 号の発行

(2) 音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第 9 回夏の研究会 シンポジウム [新・文化庁の文化芸術戦略を考える]

2017 年 7 月 22 日（土）会場:東京音楽大学 A200 教室

※第 10 回冬の研究大会 [各種研究報告の他、シンポジウム「伝統芸能の未来のために」開催]

2017 年 12 月 16 日（土）会場:武蔵野音楽大学江古田キャンパス

#### 4、国際交流事業（定款第 4 条第 2 項関係）

(1) F A C P（アジア文化芸術交流促進連盟）2017、第 35 回年次総会 [バンコク] の開催

F A C P の年次総会にあたり、協会から茂田雅美会員（FACP 会長）はじめ、中尾理事、福田監事（FACP 日本事務局長）等、多くの会員が参加した。

※第 35 回 F A C P 2017 年次総会 in バンコク

会期 2017 年 11 月 4 日（土）～11 月 6 日（月）

会場 インターコンチネンタル バンコク（タイ:バンコク）

主催 F A C P (Federation for Asian Cultural Promotion)

#### 5、企業イベント制作事業（定款第 4 条第 3 項関係）

(1) 宝くじ文化事業

宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間 11 回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間 11 回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、東京の全 11 回の合計来場者数は約 4000 人。又、大阪の全 11 回の合計来場者数は約 3000 人。

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの開催

東京は 8 月を除いて原則毎月第三水曜日の 12:00 ランチタイムに開催。

大阪は 8 月を除いて原則毎月第三木曜日の 16:00 トワイライトで開催。

[出演者の所属事業者]

音楽芸術家協会、東京コンサーツ、二期会 21、日本オペラ振興会、パシフィック・コンサート・マネジメント、ブラムスホール協会、プロ アルテ ムジケ、ミリオンコンサート協会 他

尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。

### Ⅲ 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況（平成 29 年度）

#### 1、会議等の開催、委員会の報告

##### ○総会

定時会員総会 6月9日（金）14時00分 東京・新宿区 東京オペラシティ 7F 第3会議室

##### ○理事会

第1回定例理事会 5月26日（金）14時00分 東京・千代田区 商工会館7BC会議室

第2回定例理事会 7月13日（木）14時00分 東京・千代田区 商工会館7D会議室

第3回定例理事会 1月11日（木）13時00分 東京・渋谷区 eplus LIVING ROOM CAFE&DINING

第4回定例理事会 3月8日（木）14時00分 東京・渋谷区 東急文化村 地下大会議室

##### ○執行役員会（会長・筆頭副会長・副会長・専務理事・常任理事）

第1回執行役員会 6月23日（金）16時30分 東京・品川区 協会事務局会議室

第2回執行役員会 11月2日（木）14時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

第3回執行役員会 3月8日（木）13時00分 東京・品川区 東急文化村 地下第会議室

##### ○統括執行役員会（会長・筆頭副会長・専務理事・常任理事）

第0回統括役員会 5月26日（金）16時00分 東京・千代田区 商工会館8A会議室

第1回統括役員会 10月11日（水）13時30分 東京・渋谷区 東急文化村応接室

第2回統括役員会 1月11日（水）12時00分 東京・渋谷区 eplus LIVING ROOM CAFE&DINING

##### ○マネジメント部会

消費税のリバースチャージ問題について継続的に関係団体を協議を重ねている。又、協会の制度改革を踏まえ、新規の会員勧誘に向けて活動している。

##### ○ホール部会

インバウンド需要等、過去の取組みも勘案しつつ、ホール会員共通でありマネジメント会員にも関係する課題として「ホールの影アナウンス」に関するアンケート調査を実施し、緊急時の対応策やマナー普及に向けた取組みに繋げて行く活動を行なった。

##### ○教育・創造部会

音楽文化振興事業の(2)、に記載の活動を推進している。

##### ○メディア部会

情報収集発信事業の(2)に記載の活動を推進している。

##### ○オペラ部会

加盟会員のオペラ三団体と協働、連携して、会員拡大や声楽のコンテンツ開発に取り組んでいる。

##### ○制度改革小委員会

総会にて決議された新会費規則に則り、賛助会員に在籍している正会員該当会員の移行に向けて、理事で担務を分担して勧誘活動を実施した。併せて、新たな正会員の勧誘、及び、メリット開発に向けて継続的な協議を行なっている。

第8回小委員会 7月13日(木) 協会事務局

第9回小委員会 12月19日(火) 協会事務局

## ○関西地区連絡協議会

関西地区会員は、今年度の計3回の協議会及び懇親会を開催した。

※7月20日(木) 14時00分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホールホール 会議室

参加者 関西地区会員、協会役員含 計8名

内 容 関西地区連絡協議会のこれからのあり方について

※12月10日(日) 19時00分 大阪市・北区 ホテルグランヴィア大阪 スカイダイニング

参加者 関西地区会員、協会役員含 計10名

内 容 年末の懇親会として開催

※2月26日(月) 14時00分 大阪市・北区 ザ・シンフォニーホールホール 会議室

参加者 関西地区会員、協会役員含 計21名

内 容 人材育成と広報活動について

## 2、会員・役員の移動状況報告

### 平成29年度の会員数

	平成29年4月1日	平成30年4月1日	増減
正会員A	6	6	0
正会員B	32	31	-1
正会員C	0	6	+6
賛助会員	53	50	-3
名誉会員	0	0	0

入会者:正会員B=株式会社テンポプリモ

正会員C=大阪アート・エージェンシー

賛助会員=一般社団法人大阪交響楽団、一般財団法人小野文化財団、ミューズウエスト株式会社

退会者:賛助会員=株式会社フリーウェイ、横浜みなとみらいホール、株式会社カメラータ・トウキョウ

移行者:正会員BよりCへ=株式会社新演、シド音楽企画

:賛助会員より正会員Cへ=株式会社王子ホール、白寿ホール、株式会社ノジリスタジオ

### 平成29年度の役職員数

	平成29年4月1日	平成30年4月1日	増減
理事	15	15	0
監事	3	3	0
顧問	2	2	0
参与	3	3	0
職員	2(役員兼務1名含む)	2(役員兼務1名含む)	0

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

## 3、心の復興音楽基金の活動

東日本大震災の被災者支援の一環として協会内に設置された「心の復興音楽基金」の活動は、運営委員会(委員長:福田成康)により、基金の趣旨、支援規程等に沿い、支援活動の公募を行い、平成29年度については、以下の8事業に総額約2,236,400円の支援を行った。尚、平成28年4月に発生した熊本地震の被災

者支援も対象に含めて支援を行なっている。

※支援先・支援額（申請額）一覧 ※実施順

- ・一般社団法人全日本ピアノ指導者協会熊本支部 4月21日 熊本市での支援コンサート 300,000円
- ・特定非営利活動法人ブラームスホール協会 6月15日～17日 名取市での支援コンサート 195,600円
- ・逢えてよかったね 友だちプロジェクト 10月20日～22日 気仙沼市での支援コンサート 300,000円
- ・株式会社ジャパン・アーツ 11月26日～30日 七ヶ浜・多賀城市での支援アウトリーチ 300,000円
- ・学校法人東北文化学園大学 12月3日 仙台市での支援コンサート 300,000円
- ・音楽による福島まち造り実行委員会 2月2日～3日 福島市での支援コンサート 240,800円
- ・一般社団法人ブラームスホール協会 3月3日 名取市での支援コンサート 300,000円
- ・株式会社ジャパン・アーツ 3月10日 被災地の高校生出演のチャリティコンサート 300,000円

#### 4、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

##### (1) クラシック音楽の普及

- ・新国立劇場による主催公演のチラシ東配布公募の導入について

新国立劇場が平成29年10月より導入した主催公演のチラシ東配布に関する公募制の導入（簡易公募型プロポーザル方式に係る手続きの公示）を受け、会員の（株）コンサートサービスと応募に向けた協議を行い、オペラ・バレエの二ジャンルにて採択となり、平成30年9月末までは従来のように会員各位のチラシ配布が継続出来る事となった。

- ・JASRAC（日本音楽著作権協会）による著作権の演奏会使用料に係る取扱い変更について

平成30年3月を以て一部廃止される演奏会の著作権使用料に係る通減措置の満了により、使用料の値上げが実施される事から、関係団体と連携しJASRACと協議を行い、会員各位に対して事前の注意喚起を行い、混乱を避けるべく対応した。

- ・新たなクラシックフェスティバルへの協力

クラシック音楽に対する敷居を下げ、裾野を拡げる活動として、協会会員が新たに取り組むクラシックフェスティバルについて提案を受け、理事会等で協議を行い、次年度の初開催に向けて協会として体制を整える事となった。

##### (2) 関係団体との連携・協力

- ・全国中小企業団体中央会（経済産業省・中小企業庁関係組織）に加盟して活動を推進している。
- ・文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。
- ・音楽産業文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に西村会長が就任し活動を推進している。
- ・仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

##### (3) 後援名義等の許可状況

平成29年度は以下の3事業について当協会として名義後援を行った。

申請者：株式会社東京国際フォーラム 事業名：ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭2017

申請者：公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名：仙台クラシックフェスティバル2017

申請者：学校法人上野学園大学 事業名：音楽をまなびほぐす

～教育普及プログラム実践者のための人材育成支援事業